



支えあい、ともに笑顔でくらすまち

秋葉区社協だより

Vol.41

2022.07.10 発行



花水隊

お花のお世話をしてくださっている地域のボランティアグループの皆さん



花の会

山の手地区活動紹介

— 花は人を育て 地域をつなぐ —

山の手コミ協では13年前から通学路の清掃と矢代田駅を花で飾る活動に取り組んでいます。今年は5月11日に幼児から小学生、中学生、そして地域のボランティアグループなど総勢約150人が参加しました。

中学生の進行により花植え活動を開始！初めは同じ団体同士で固まっていたのですが、次第に大人も子どもも混ざり合い、日頃出会わない人とのふれあいや相手を思いやる姿が見られました。花植えを通じて地域の絆が深まり、駅前広場は色鮮やかな花でいっぱいになりました。

(山の手コミ協 会長 横山さん)

秋葉区社協だよりの 郵送申込みを 受け付けています

より多くの皆さまに情報をお伝えできるよう希望される方には個別に郵送をしています。お近くの方にぜひご案内ください。

お申し込み先：秋葉区社会福祉協議会
TEL0250-24-8376
FAX0250-23-3322



年3回(7月・10月・3月)に発行予定です！

秋葉区社協だよりは、新聞折り込みでお届けするとともに、区役所、コミュニティセンターなどに設置していただいております。

目の不自由な方を対象に、点字版や音声版(デジリー・CD版)も発行しています。

今回の 特集

新型コロナウイルス感染症による影響が続くなか、ひとり親家庭の経済的負担が少しでも軽減されるよう実施している食料支援の取り組みについてご紹介します。

中も読んでね

～食を通して親子に笑顔届けたい～

未だ続くコロナ禍の影響により、仕事と子育てを両立しているひとり親家庭は、収入の減少等様々な理由で厳しい生活状況が続いています。このような中迎える学校の長期休みでは、食費が増えるなど経済的な負担が大きくなります。

秋葉区社会福祉協議会では、不安な気持ちに寄り添い、ひとり親家庭の経済的負担が少しでも軽減され、親子の

笑顔につながるよう、令和3年度の冬休みより食料支援を行っています。

区内企業の皆さまにもご協力の呼びかけをしたところ、「ぜひ協力させてほしい」など、多くの企業様からも温かいお声、お気持ちとともに食品や利用券等ご支援いただき、あわせてお渡することができました。

今後も、皆さまの声を傾けながら、関係機関等と連携のもと継続的な支援に取り組んでいきたいと考えています。



ひとり親家庭のみなさまへ 食料品等を無料で配布します

昨年の冬休みの実施に続き食料品の詰め合わせを無料で配布いたします。

対象 児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成受給世帯対象の方には、秋葉区役所健康福祉課児童福祉係よりご案内を送付いたしました。
(封筒は、秋葉区社会福祉協議会のものを使用しています。)

実施日 令和4年7月29日(金) 30日(土)

詳しくは送付された案内をご確認いただくか、秋葉区社会福祉協議会へお問い合わせください。



食料支援を受け取った皆さまからの声 (令和3年度 冬休み期間に実施)

- 心にも余裕が生まれ良いお正月が迎えられそうです。本当にありがとうございます。
- 子どもたちが大喜びでした。別の形で私たちもお返ししていけたらと思いました。
- 自分是我慢しても子どもにはたくさん食べさせてあげたいと思います。
- 皆さまの温かいご支援心から感謝いたしております。色々な面で辛いときですがもう少し頑張ろう！と思いました。

企業のみなさまへ 食品や日用品等の寄贈をお願いします!

より多くのひとり親家庭の親子へ応援の気持ちを届けるために企業の皆さまからの食品や日用品等のご提供を募っております。

- **食料品** 米、乾麺、お菓子、飲料など
- **日用品** ティッシュBOX、生理用品など
- **その他** その他にもご提供いただけるものがありましたら、ご相談ください。

ご寄付の申し込みについては、秋葉区社会福祉協議会へ直接ご連絡いただけますようお願いいたします。

申込締め切り 令和4年7月22日(金)

秋葉区社会福祉協議会では、生活にお困りの皆さまへ支援を行っておりますので、今回の募集の日程に合わない場合でも、ご寄付・ご相談をいただけますと幸いです。



株式会社川内自動車 様 令和3年度 冬休み期間に実施した際にご寄付いただきました。

川内自動車では社員の有志により2年前からフードバンクへの協力の取り組みをスタートしました。こまっている人へ手を差し伸べることは、日々の仕事の中でも多々あります。助け合いの気持ちを育てることは大人になってからも必要だと考えます。行動指針「ワンフォーオール」の精神を持ち、微弱ではありますが、今後も地域の方への協力が続けていけたらと思います。
川内自動車 企画広報 大村さん

秋葉区内では生活に困窮している方へ食料品等の支援を行っている団体があります。

秋葉区食糧×生活支援プロジェクト

長引くコロナ禍に苦しむ方(子育て世代、シングルマザー、パートタイマー、学生、自営業...)を対象に、秋葉区内の各団体が協力し、食糧・生活用品の無料配布と生活相談を行っています。

保存可能な食品(賞味期限が1か月以上残っているもの)や、洗剤、シャンプーなど未使用の生活用品など寄付のご協力も受け付けております。

【問い合わせ先】
新潟健康友の会 新津総支部
TEL: 0250-22-6851



子ども食堂秋葉かけはし

子どもたちや孤食になりがちな高齢者、多忙な親たちの手助けになるようにとの思いから、お弁当形式での子ども食堂の活動のほか、寄付でいただいたお菓子や果物、お米・パンなどはお土産にお渡ししたり、服や学校で使う道具などの無料リサイクル活動もしています。



こちらの支援団体も寄付の受け付けをされています。ご協力をお願いいたします。

暮らしの中での
困りごと、悩みごとを
ご相談ください
(コミュニティソーシャルワーク推進事業)

「生活するお金がなくて困った」

「コロナ禍でずっと家に閉じこもっている」

「ひきこもりの子どもが心配」

「最近、お隣さんを見かけなくなった」

どこへ相談すればよいかわからない困りごとや悩みごとがありましたら、秋葉区社会福祉協議会へまずはお気軽にご相談ください。少しでも皆さまの困りごとを解決できるよう一緒に考えます。

会員会費納入にご協力をお願いします!



秋葉区社会福祉協議会では、地域の皆さまと共に地域福祉の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。地域の皆さまからご協力いただいた会員会費をはじめ、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、新潟市等からの補助金・受託金を財源に事業を展開しています。

趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

～会員加入と会費ご協力をお願いします～

一般会員	賛助会員	
一世帯 600円	企業(一口) 5,000円	団体(一口) 2,000円

令和3年度

会員会費のご協力
ありがとうございました!!

【令和3年度総額：13,045,570円】

一般会費 12,752,570円

賛助会費 293,000円



各種助成のご案内

秋葉区社会福祉協議会では、地域コミュニティにおける地域福祉活動に各種助成を行っています。ぜひご利用ください。

地域ふれあい事業

自治会・町内会が実施する住民同士の交流事業に対し、地域内の多世代交流の促進を図るために助成金を交付しています。

- 対象団体** 自治会・町内会
複数の自治会・町内会で実施する事業も対象
- 助成額** 1事業1万円(上限)
○複数自治会で実施する場合
1万円×自治会数が助成上限額
- 申請回数** 年間3回まで

草水町町内会

草水町文化祭・バザー

令和3年11月7日、コロナ禍ではありませんが感染対策をとった上、町内会館で文化祭・バザーが開催されました。絵画、写真、書道、手芸品等たくさんの力作が出品され、町内の交流の場となりました。



バザーは、おこわ、笹だんご、新鮮野菜等が並び、約千個の笹だんごはあっという間に売り切れました。秋葉区社協のふれあい事業助成金もいただき、文化祭に出品された作品は作品集としてまとめ、出品者に送られました。ありがとうございました。

活用紹介

子どもの居場所づくり活動団体支援事業

子どもの社会的孤立の防止を図ることを目的に、地域社会の中で子どもの居場所づくりに取り組む団体に対し、当該事業の実施に要する経費の一部を助成します。

- 対象団体** 子どもの居場所づくりを目的に月1回以上区内で活動に取り組んでいる団体
- 事業例** 子ども食堂、学習支援、フリースペース など
- 助成額** 年間3万円(上限)

こすどっ子食堂運営委員会

こすどっ子食堂

こすどっ子食堂は小須戸にある明願寺で、月2回開催している子ども食堂です。食堂と言っても、子どもたちの放課後の遊び場としてお寺を開放しており、最後にお弁当を皆さんに配布する形で行っています。



境内からはいつも子どもたちの楽しそうな声と笑顔があふれています。様々なご支援がある中で、秋葉区社協さんからの助成金も活用させていただいており、「こどもの居場所」の一つとして地域に根付いていけたら良いなと思っています。

活用紹介



※詳細や必要な書類等については秋葉区社会福祉協議会までお問い合わせください。秋葉区社会福祉協議会 TEL0250-24-8376

支え合いのしくみづくりとは…

新潟市では、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実を図るため身近な地域での支え合いを推進し、支え上手・支えられ上手の地域づくりをすすめています。

支え合いのしくみづくり推進員

- 秋葉区全域 : 市橋
- 新津第一・第二圏域 : 加藤
- 新津第五圏域 : 宮腰
- 小合・金津・小須戸圏域 : 時田

支え合いのしくみづくり リレートーク



令和4年度 第1回 新津第一・第二圏域

支え合いのしくみづくり 会議を開催しました

6月9日(木)、新津第一・第二中学校圏域の協議体「支え合いのしくみづくり会議」で、今年度の取り組みについて構成員の皆さんと話し

合いをしました。新津中央地区・新津西部地区・荻川地区で構成される圏域であり、各地区の地域課題や悩み、気になることなどについて意見を出し合い、その課題に対する取り組み「あったらいいな」「やらなければ」と思うこと、地域でどのように力を合わせて取り組めようかについて意見が交わされました。

今後の取り組みについて意見(主なもの抜粋)

- ・見守り活動の推進(声かけが大事)
- ・居場所づくり、運営支援(子どもから高齢者まで)
- ・地域におけるつながり強化(多世代交流、行事参加)
- ・助け合い活動(生活支援)
- ・災害時の助け合い、防災訓練の工夫
- ・安心安全(子どもや高齢者の交通安全)
- ・移動手段の検討
- ・除雪の助け合い検討
- ・老人クラブとしての役割を検討
- ◎地域と関係団体(地域コミ協・地区社協、自治会・町内会、民生児童委員、老人クラブ、PTAなど)の組織と連携した取り組みが必要

自ら相談できない人も多いので、互いに気にかけて合うことが大事だと思う。

コロナ禍で人とのつながりが希薄になっている今こそ、工夫しながら行事等取り組んでいく必要がある。



今回の意見をもとに、構成員の皆さんや地域の皆さんと相談し、連携しながらできることから取り組みを進めます。

支え合い、助け合いの活動により、「人がつながり、ともに支え合う やさしいまち」を目指していきます。

令和4年度事業計画及び予算概要

秋葉区社会福祉協議会

1 地区社協等との協働による地域福祉の推進 ～おたがいさまの地域づくり～

地域住民同士の「支え合い」や「助け合い」を推進するため、各地区社協・コミ協及び自治会・町内会を取り組んでいる地域福祉活動や、各地区で地域福祉活動計画の目標達成に向けた取り組みへ支援を行い、孤立を見逃さない地域づくりを目指します。

○地域ふれあい事業 ○地域福祉活動計画推進事業
○地域包括ケア推進事業(支え合いのしくみづくり)

2 身近な地域における見守り・生活支援の推進と総合相談支援体制の整備 ～一人ひとりの困りごとをみんなで解決～

身近な地域において見守りが必要な方の支援や、生活支援の体制づくりを推進するとともに、多様な地域生活課題を解決するため、福祉の専門機関等とのネットワークを活用した一人ひとりの困りごとの解決につなげます。

○友愛訪問事業(見守り活動) ○緊急情報キット事業
○ふれあい福祉サービス事業 ○地域の茶の間(サロン)事業
○コミュニティソーシャルワーク推進事業 ○心配ごと相談事業

3 ボランティア・市民活動の推進 ～ボランティアの心を応援します～

ボランティア・市民活動に関する身近な区民の相談窓口としてボランティアセンターを設置し、活動先の紹介、各種情報提供を行うとともに、地域福祉活動を担う人材の育成・確保のため各種講座を開催し福祉教育を進めます。

○各種ボランティア講座の開催
○ボランティア・市民活動センター情報紙の発行

4 広報・啓発活動の推進 ～ふだんのくらしのしあわせについてみんなに発信します～

各地域での住民主体の地域福祉活動の事例や、社協の活動について情報発信を行うことで、福祉に関心を持ち、身近な地域での助け合い・支え合い活動が広がるよう意識醸成を図ります。

○秋葉区地域福祉推進フォーラムの開催
○広報紙「秋葉区社協だより」の定期発行

5 組織・運営の充実 ～信頼される社協を目指します～

理事会・委員会等の多様な意見を反映させ、開かれた区社協を目指します。

○理事会・委員会機能の充実 ○活動財源の安定的確保

新潟市社会福祉協議会

令和4年度事業計画

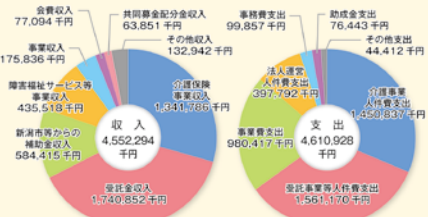
新潟市社会福祉協議会の最上位計画である「新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021」の実現と基本目標の達成に向けて、本会の組織構成である3つの部門(「地域福祉活動推進及び相談・権利擁護部門」「介護・生活支援サービス部門」「法人経営部門」)ごとに、それぞれの分野のより具体的な取り組みを示す「部門計画」を策定しました。

令和4年度は、この「部門計画」の確実な推進に努めるとともに、部門を超えた関わりと専門性の向上を図りながら「総合支援型社協」として、さらに他機関などと連携し、多様な地域生活課題の解決に取り組めます。

「新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021」ビジョンと基本目標

- (1) ビジョン
「支えあい、ともに笑顔で暮らすまち[にいがた]」
- (2) 基本目標
基本目標1 孤立を見逃さない地域づくり
基本目標2 ネットワークを活かした一人ひとりの困りごとの解決
基本目標3 信頼され、安定した法人経営

令和4年度当初予算



※差額 58,634千円は前期未支払資金残高(繰越金)から充当します。

元気力アップ・サポーター募集中

福祉施設などでのサポート(ボランティア)活動を通じて自分の健康づくりや生きがいづくりをしませんか? みなさんがいつまでも健康でいられる地域づくりをめざしています。

- ◆ 対象: 新潟市在住の65歳以上の方
- ◆ 活動内容: お茶出し、お話し相手、芸能披露、作業補助、レクリエーション補助、草刈り・花植えなど

サポーター活動を行った場合にスタンプがたまり、スタンプ数に応じて年間最大5,000円の交付金を受け取ることができます。スタンプをためながら、楽しく活動しましょう!

- ◆ 活動場所: 介護施設、障がい者施設・図書館など ※今年度から図書館での活動も対象になりました。

登録説明会のご案内

説明を聞いてから、登録を検討いただけます。まずはお申し込みのうえお気軽にご参加ください。

- ◆ 日時: 7月19日(火) 8月24日(水) 9月13日(火) 13時30分～15時
- ◆ 会場: 秋葉区社会福祉協議会 ※10月以降は新潟市の市報をご確認ください。
- ◆ お申し込み: 秋葉区社会福祉協議会 0250-24-8345

◎希望者が5人以上集まりましたら出張説明会も承ります。お気軽にご相談ください。



ふれあい福祉サービス

ふれあい福祉サービスは、住民同士の生活支援の活動です。「困っているときはお互いさま」そんな気持ちからつくられました。

- 利用できる方: 秋葉区にお住まいで、おおむね65歳以上の方など
- 活動内容: 調理及び食事の準備、買い物、掃除、洗濯 他 ※実際に訪問し活動する方は「協会員」です。協会員は身近な地域の方です。

- 利用日時: 平日の午前9時～午後5時 (ゴミ出しは、8時半までに実施) お休み: 土日祝日および12月29日～1月3日
- 利用料: 1時間につき500円(ゴミ出しは30分250円)

協会員も随時募集しています。毎月20日に説明会を開催しています。お気軽にお問い合わせください。祝日にあたる場合は、翌日になります。

お問い合わせ
秋葉区社会福祉協議会
TEL: 0250-24-8376

秋葉区心配ごと相談所

(来所相談・電話相談)
相談無料 予約不要

- 日時: 毎週月・金曜日 午前10時～午後3時 ※祝日の場合は休み
- 場所: 新津地域交流センター 2階 相談室
- TEL: 0250-24-8376

どこに相談すればいい? 誰に相談すればいい? 不安や悩みごとは心配ごと相談所へご相談ください。相談員が親身に相談に応じます。

ひとりで悩まず お気軽に相談ください

善意のご寄付

あたたかいご寄付をありがとうございました

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。(令和4年2月1日～令和4年5月31日)

寄付者氏名(敬称略)	寄付金額・物品	寄付先
(株) 鈴木組	35,408円	秋葉区社協
越佐雪割草の会	10,000円	秋葉区社協
新津商工会議所女性会	50,000円	秋葉区社協
金津地区農協役員OB会	1,751円	秋葉区社協
匿名	100,000円	秋葉区社協
匿名	5,000円	秋葉区社協
匿名	白米 30kg × 1袋 玄米 30kg × 1袋	秋葉区内子ども食堂

秋葉区社協だよりの郵送申込みを受け付けております。

秋葉区にお住まいの方で新聞未購読等、秋葉区社協だよりが届いていない世帯で郵送を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までお申込みください。

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町 1-2-39
TEL: 0250-24-8376 (代表) FAX: 0250-23-3322
TEL: 0250-24-8345 (秋葉区ボランティア・市民活動センター)
URL: <http://niigataakihaku-syakyo.jp/>

秋葉区社会福祉協議会 検索

